



世界経済の知識と各地域の情勢を学ぶことで、国際的な感覚が身につく

[国際経済学科]の  
教授 & 学生による **誌上TALK**

泉 留維 教授 × 2年 小野 莉紗子 さん

**泉** 世界各国の社会や経済について、幅広く学べるのが大きな魅力ですね

語学と経済を学ぶことで、広く深く学ぶ

**泉** 小野さんが思う国際経済学科の魅力はなんですか？

**小野** 語学と経済、この二つを学べることだと思います。それぞれの学習はもちろん、英語や他の言語を使って国際問題を考えるなど、応用的な学習もできるのはとても嬉しいです。

**泉** 確かに、英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、ロシア語、中国語、コリア語といった様々な言語を学べるだけでなく、世界各国の社会や経済について、幅広く学べるのが国際経済学科の大きな魅力ですね。座学以外にも「海外特別研修」

「NGO論」といった現地に赴き、自らの体験を通して社会経済を深く学ぶ授業が用意されていることも特徴の一つですね。

世界に目を向けて、今を見つめる

**小野** 私は今、国内外の企業の環境に対する取り組みが気になっています。紙ストローやリサイクルされた素材から作られた衣服など、様々な企業が環境に配慮した取り組みをしています。さらに、企業の取り組みに対して消費者側も付加価値として捉える傾向が強まりつつあることも興味深いと思います。

「語学」はこのグローバル社会において、切っても切れない関係だと思います

**小野**

**泉** 現在欧米諸国では、使い捨てプラスチックの使用について厳しい規制が導入されつつあります。そのため企業は「良質なモノとサービスを安く提供する」という役割だけでなく、事業活動を通じて環境問題のような社会的な課題を解決することが求められる時代になりました。消費者もそのような企業の商品を積極的に選択していくことも重要でしょう。

**泉** 小野さんは大学での学びをどんなふう将来の自分につなげていきたいですか？

**小野** 私はゼミナールでの経験を活かして何か環境のことを考えられる仕事に就きたいと考えています。「語学」はこのグロー

バル社会において、「経済」は普段の生活において切っても切れない関係だと思います。国際経済学科でこの二つをしっかりと学んで、普段の生活に活かしていけるようにになりたいです。

**泉** どんな企業でも、地球温暖化問題をはじめとした環境問題を無視しながら活動を続けることは困難な状況になっています。ゼミナールで学んだ環境問題に関する知識はきっと役に立つはずですし、さらに国際経済学科で身につけた経済の知識と語学力を活かせる場面は必ずあるでしょう。実際にそれらを駆使して、世界の舞台上で活躍されている多くの先輩がいます。小野さんも、こういった先輩たちに続いてほしいと思っています。